

会 議 録

- 1 会議名
令和3年度第9回吉川区地域協議会
- 2 会長挨拶
- 3 議題（公開・非公開の別）
 - ・報告事項（公開）
 - (1) 会長報告
 - (2) 委員報告
 - (3) 事務局報告
 - ・協議事項（公開）
 - (1) 自主的審議事項（公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について）
 - (2) 分科会の検討報告等について
 - (3) その他
 - ・総合事務所からの諸連絡について（公開）
 - ・その他（公開）
- 4 開催日時
令和3年12月16日（木）午後6時30分から午後7時38分まで
- 5 開催場所
吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室
- 6 傍聴人の数
1人
- 7 非公開の理由
なし
- 8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）
 - ・委員：五十嵐豊、薄波和夫、江村奈緒美、大滝健彦、片桐利男、佐藤 均、
関澤義男、高野幸夫、中村正三、橋爪正平、平山浩子、山岸晃一
 - ・柿崎区総合事務所：滝澤産業グループ長、玉井産業グループ班長
 - ・事務局：風間所長、平山次長（総務・地域振興グループ長兼務）、渡邊市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、平原総務・地域振興グループ班長、佐々木総務・地域振興グループ主査
- 9 発言の内容（要旨）

【平山次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・委員12人の出席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：高野委員

【山岸会長】

- ・挨拶

【平山次長】

- ・議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

- ・議長を務めさせていただく。なお、議事録作成のため、発言をする場合は、挙手をし、私から委員の名前をお呼びするので、その後、発言をお願いする。発言は簡潔にお願いする。
- ・次に、次第3報告事項に入る。会長報告であるが、12月11日に吉川地区公民館主催の「ふるさと歴史講座」が開催され出席した。小中学生にも吉川区の歴史を理解してもらい郷土に誇りを持ってもらう意味で今後とも続けていただきたい。
- ・本日開催の市議会総務常任委員会の傍聴をしてきたが、地域自治区と地域協議会の在り方について所管事務調査が行われていた。議員の意見として、地域協議会は不要だというもの。行政区をブロック制に組み替えてブロックごとに予算をつけたらどうかという意見などが出された。地域協議会委員は準公選制で立候補され、委員それぞれのお仕事をやり繰りされながら吉川区のために活動されている。議員のように報酬をもらっている立場とは違う。また、総務常任委員会では、地域協議会との話し合いをもちたいとの意見も出された。
- ・次に委員の方から報告はあるか。

【片桐委員】

- ・「ふるさと歴史講座」について報告する。興味深い話として大潟区の丸山古墳から鉄器が出土しており、上下浜や長峰では砂鉄がたくさん採れたようだ。町田の前方後円墳からも出土すると、この地域は特異な地域であるとのこと。西湊、舟入などの地名が残っており、その辺は大きな沼地であったとのことである。また、大乘寺な

ど吉川区には寺の字が付く地名が多い由来などもお話しいただいた。吉川区の子ども達に吉川区の歴史を教えることで郷土への誇りを醸成することになると思う。

【山岸会長】

- ・「郷土に愛着がなければ定着なし」という山田講師からのお話しもあり、そのとおりであると感じた。
- ・次に事務局から報告をお願いします。前回諮問事項として説明のあった件について、担当職員が来ているのでお願いします。

【滝澤グループ長】

- ・始めにお詫びを申し上げる。前回、上越市吉川緑地等利用施設の廃止について、この12月の地域協議会で諮問をさせていただくと説明したが、一部県との協議が完了していないため、今回の諮問を見送り、次回の1月の地域協議会で諮問をさせていただきたいと考えている。諮問の内容については前回説明したとおりでありご理解をいただきたい。関係者との協議は終わっているが、3月市議会定例会に議案を提出する都合から、2月初旬に地域協議会を開いていただき答申をお願いしたいと思う。
- ・もう1点は、吉川ゆったりの郷ゲートボール場の利用料金についてご説明する。
(以下、資料No.1により説明があった。)

【山岸会長】

- ・ただいまの説明について、質問、意見があったらお願いします。

【片桐委員】

- ・県との協議が完了していないというのは、見はらし荘のことか。

【滝澤グループ長】

- ・キャンプ場のトイレである。建て替えの際、県の補助金を利用したことから県と協議をしているが完了していない状況である。

【片桐委員】

- ・パノラマハウスや見はらし荘は前回の説明のとおりということか。見はらし荘は、蕎麦の早食いイベントなどを開催しており、蕎麦サミットなども開催できればと期待している施設である。

【滝澤グループ長】

- ・前回説明したとおりであり、そのように進めている。見はらし荘は普通財産になる

が指定管理者であるみなもとの郷が引き続き運営する予定となっており、地域の活性化に向け引き続き活用していただきたいと考えている。

- ・また、正副会長会議において山岸会長から当諮問案件と同様な案件が他にもあるかどうかの質問をいただいたが、安塚区の雪だるま高原について、12月の安塚区地域協議会で諮問をさせていただき審議される予定になっている。

【山岸会長】

- ・いずれにしても関係者、担当部局と連携して、せっかく造った施設でありその有効活用を努めてほしい。他に事務局から報告はあるか。

【平山次長】

- ・前回の地域協議会において、薄波副会長から新規除雪機械の配備についてご質問があり報告させていただく。報告資料「新規除雪機械配備一覧表」をご覧ください。

(以下、報告資料により説明があった。)

【山岸会長】

- ・ただいまの報告について、質問、意見があればお願いしたい。

(委員から質問、意見はなかった。)

- ・以上で報告事項を終わり、次第4協議事項に入る。(1)自主的審議事項(公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について)に入る。前回の地域協議会で旭地区と源地区の報告をさせていただいたが、今後の進め方として最終的には意見書という形にまとめることになると思う。お願いであるが、各分館で意見交換をし、事務局で会議録にまとめてもらってあるが、改めてその時に司会を担当した委員から会議のまとめをお願いしたい。それを持ち寄り意見書にするかどうかも含め、協議をお願いしたいと考えているがいかがか。

【片桐委員】

- ・会長の考えに賛成である。今回の意見交換会は、地域協議会が中に入っているからいろいろな意見が出された。今後の貸付等については、市と地元の協議で進められることになるが、その前に意見をまとめることは重要なことでありぜひお願いしたい。

【山岸会長】

- ・次回の1月の地域協議会で報告をお願いしたいが、時間がないということであれば先に延ばすが。

【五十嵐委員】

- ・意見交換会に出席した委員全員が、出席した会議のまとめをするということか。それとも司会をした委員が代表してまとめることになるのか。また、まとめるということは、もう1度地域の意見を聞くということか。それとも当日のやりとりを思い出して自分なりにまとめるということか。

【山岸会長】

- ・司会を担当した委員からまとめをお願いしたい。複数人出席している場合は、相談のうえまとめていただきたい。もう一度地域の声を聞くということではなく、改めて委員で確認、検討したいということだ。

【片桐委員】

- ・自分もメモを取ってあるが事務局で記録をまとめてあり、それらを中心にまとめるということでよいか。

【山岸会長】

- ・その方向でお願いしたい。事務局の記録もあるが、言葉のニュアンスが違う部分もあり、その辺も改めて報告願いたい。

【佐々木主査】

- ・確認させていただくが、報告してもらおうということだが文書によるものか、口頭で報告してもらおうのかどちらなのか。

【山岸会長】

- ・簡潔な文書でお願いしたい。1月の地域協議会で発表してもらおう。

【山岸会長】

- ・次に（2）分科会の検討報告等についてに入る。前回以降活動があった分科会から報告をお願いします。

【片桐委員】

- ・高齢者対策分科会であるが、12月17日に吉川区の公共交通懇話会が開催されるので傍聴し、その後に分科会を開催したい。

【平山委員】

- ・若者移住・定住分科会である。前回でアンケート内容をまとめたので、今後、中学校の先生にアンケートの配布、回収をお願いする予定である。

【中村委員】

- ・地域づくり分科会では、今回配布された名立区まちづくり協議会の資料や、ただいま会長からお話しがあった各公民館分館のまとめを参考に活動していきたい。時間も迫ってきているが、委員のご協力をお願いしたい。

【山岸会長】

- ・次に4協議事項の(3)その他に入るが、私の方から名立区まちづくり協議会の資料を事前に配布させていただいた。安塚区地域協議会でも既に活動されている。今日の市議会総務常任委員会の審議ではないが、我々が住んでいる区の今後を考えることは当たり前のことであり、我々はその立場にある。我々が先導するというのではないが、吉川区の少子高齢化対策をこれからどうしていくのか、行政に任せるというものではない。名立区では他の団体と共に活動をされている。吉川区でも社会福祉協議会でアンケート活動をされたりしているが、我々が声を出し、他の団体からも集まってもらった中で市民全体の声を名立区のようにひとつにまとめ、今後どのようにしていくか市民に問いかけていきたい。まずは委員の意見をお聞きしたうえで進めていきたい。
- ・できれば吉川区でもひとつにまとまって取り組んでいく組織「(仮称)まちづくり推進協議会」の設立に当たり、既に取り組まれている名立区の話や上越市創造行政研究所から今後の少子高齢化のお話しなどをお聞きしたいと考えている。皆さんからご了解をいただければ話を進めたいがいかがか。質問、意見があったらお願いしたい。

【片桐委員】

- ・「(仮称)まちづくり推進協議会」と言われた組織の設立時期はいつ頃になるか。中川市長は令和4年度で構想を練って、令和5年度に各自治区にある程度の予算権を持たせると言っている。総合事務所だけでやってくれというわけにはいかないのが地域の皆さんと一緒にやるというのが前提になってくる。だから今すぐということではなく、中川市長の方針が出てから「(仮称)まちづくり推進協議会」という団体を設立することが順序だと思うが。

【山岸会長】

- ・今の市議会の状況をみると中川市長の方針が、そのまま反映されるかどうか心配である。1年かけて市議会でも審議されると思うが、我々の任期が令和5年度で終わるので、私としては少なくとも来年度中には、そういう団体を立ち上げて協議やアンケート調査に入りたいと考えている。方針や予算が決まってから動けばよいという考え

もあると思うが、私としては吉川区では前もって、予算の使い方や事業の優先順位についての協議に入るべきだという考えである。来年度には諸団体の皆さん方と協議に入り、「(仮称)まちづくり推進協議会」という組織ができればよいと思うが、市長の方針決定後の方がよいか。

【関澤委員】

- ・中川市長の公約の中には地域活動支援事業ではなく、各自治区に予算を配ると言っている。

【山岸会長】

- ・私の知る限りでは、地域活動支援事業をなくし、各地域自治区に予算権を振り分けると聞いている。しかし市議会との審議状況をみると今後どのようになるかわからない。

【風間所長】

- ・私の方から12月定例会市議会のお話しをさせていただく。市長は各自治区の独自予算について、一般質問などで答弁されていたが、令和4年度で制度設計をし、皆さんと協議して合意形成をする中で令和5年度の当初予算に計上し、段階的に取り組んでいくと話されていた。仕組みとしては各地域自治区に予算を配分するというのではなく、地域の発想を引き出し、その取り組みを促すことで好循環を生み出す仕組みにしたいと聞いている。今のところ私どもへの説明もないし、方針が示されているわけではない。令和4年度に皆様方と協議を進めていき、令和5年度に予算を計上していくという流れで進めていくということである。

【関澤委員】

- ・中川市長の地域自治区への支援等、具体的な方針が決まらないとうまくないのではないかと。私としては少子高齢化の現状をみると、都会からIターン、Uターンで若者がどんどん吉川区に来るようなことがない限り、今後子供が増えて少子化に歯止めがかかることは難しいと思うし、高齢者が元気で暮らせればよいという消極的な考えをもっている。
- ・事前に交通弱者対策など吉川区の課題を考えていくこともひとつの方法ではあるが、今のところ来年度の地域活動支援事業もどうなるかわかっていないので、市長の方針が示される前にやることはどうかと思う。

【山岸会長】

- ・事務局の方で来年度の地域活動支援事業の実施について何か聞いているか。

【風間所長】

- ・来年度の地域活動支援事業については、現在検討中ということで、それ以上のことは聞いていない。例年であれば採択方針などの協議をお願いしている時期であるが、それも待っていただいている状況である。

【山岸会長】

- ・名立区のアンケートの中にもあったが、地域のことを行政に全て任せっきりでなく、住民自ら地域の課題に取り組み人口減少速度を緩めることを考えていくべきであり、まずは吉川区内の諸団体と話し合いをし、市民がどのように考えているか探る必要がある。予算が配分されるか否かに関わらず取り組みは進めていくべきだと考えている。
- ・行政が考える予算の組み立てと我々が考える予算の組み立てが、全て一致するか確かめることも必要だと考えており、そういう意味で話しを進めていきたいがよろしいか。

【関澤委員】

- ・市長がどんな方針を出されても対応できる体制づくりが必要だと考える。地域協議会が吉川区の設立組織と諸団体との橋渡し役をすることは必要だと思うし、吉川区の課題を市民全体が認識することは大切なことだと思う。アンケートを取って市民の意見を集約することは賛成であるが、市民からの予算要望等が多すぎて取りまとめができなくなることを心配している。

【薄波副会長】

- ・会長の意見に賛成である。補足させていただくが、実は社会福祉協議会で今年度末までに福祉活動計画を策定する予定である。その過程で吉川区の地域づくりなどの計画も併せてできればよいと思う。青少年育成会議でも中学生にアンケートを取ったと聞いたが、来年1月には吉川小学校の児童に対しても吉川区の夢等について話し合いの時間を持つとの話しも聞いている。そういう子供たちの意見を基に吉川区のまちづくりを進めていけばよいと思う。予算化とは別の次元になると思うが、活動としてはそのように進めていけばよいと考える。

【山岸会長】

- ・講演会のスケジュールとしては、来年2月に実施したいと思うがどうか。まずは吉

川区内の諸団体に声をかけ講演会を開き、その後、各団体と話し合いができればよいと考えている。若者との意見交換としては、高校生は難しいので組織としては青年会がないため消防団との話し合いを考えており、設立団体の仲間になってもらいたいと思うがいかがか。

(委員から異議はなかった。)

- ・それではそのように進めていく。

【山岸会長】

- ・他になければ、次に(4)その他に入る。委員の方で何かあるか。

(委員からはなかった。)

【山岸会長】

- ・事務局の方で何かあるか。

(事務局からはなかった。)

【山岸会長】

- ・それでは、次第の5総合事務所からの諸連絡に入る。事務局、説明をお願いする

【平山次長】

- ・私の方から施設の年末年始の休館等についてお知らせする。

(以下、説明資料に連絡。)

【佐々木主査】

- ・私の方から2点連絡させていただく。1点目は上越市地域協議会会長会議についてお知らせする。1月6日の木曜日、午後3時30分から上越文化会館で開催される。山岸会長と風間所長が出席される予定である。会議の内容は市長の講話、「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた各地域協議会における今後の取組の検討結果についてなどである。
- ・2点目は、1月25日開催の頸北地区地域協議会委員合同研修会についてである。出席報告は1月7日までである。分科会への希望をお聞きしているが、集約した結果、希望と違う分科会になる場合もあるのでご了解願いたい。

【山岸会長】

- ・ただいまの総合事務所からの諸連絡について、質問、意見はあるか。

(委員からはなかった。)

- ・次に次第の6その他に入る。委員の方で何かあるか。

(委員からはなかった。)

【山岸会長】

- ・事務局の方で何かあるか

(事務局からはなかった。)

【山岸会長】

- ・他になければ、次回の地域協議会の日程であるが、通常であれば第3木曜日の1月20日になるが、当地域協議会では諮問から答申までの時間を十分取ることとして意見書を出しており、1週前の1月13日木曜日に開いて諮問の審議を行い、2月3日の地域協議会で答申するという日程で開催したいと考えるがよろしいか。

【中村委員】

- ・先程の意見交換会のまとめの報告提出も1月13日ということでは厳しいと思う。スケジュール的にはどうか。

【山岸会長】

- ・どうしても1月の地域協議会ということではない。まとめができないということであれば2月以降の地域協議会で発表していただきたいと考える。

【中村委員】

- ・了解した。

【山岸会長】

- ・それでは、1月の地域協議会は1月13日、2月の地域協議会は2月3日の開催でお願いしたい。開催時間、会場はいつものとおりである。この日程よろしいか。
(委員から異議はなかった。)

【山岸会長】

- ・異議がないので、その日程でお願いします。他になければ、閉会の挨拶を佐藤副会長にお願いします。

【佐藤副会長】

- ・以上で第9回吉川区地域協議会を閉会する。

10 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL: 025-548-2311 (内線213)

1 1 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。